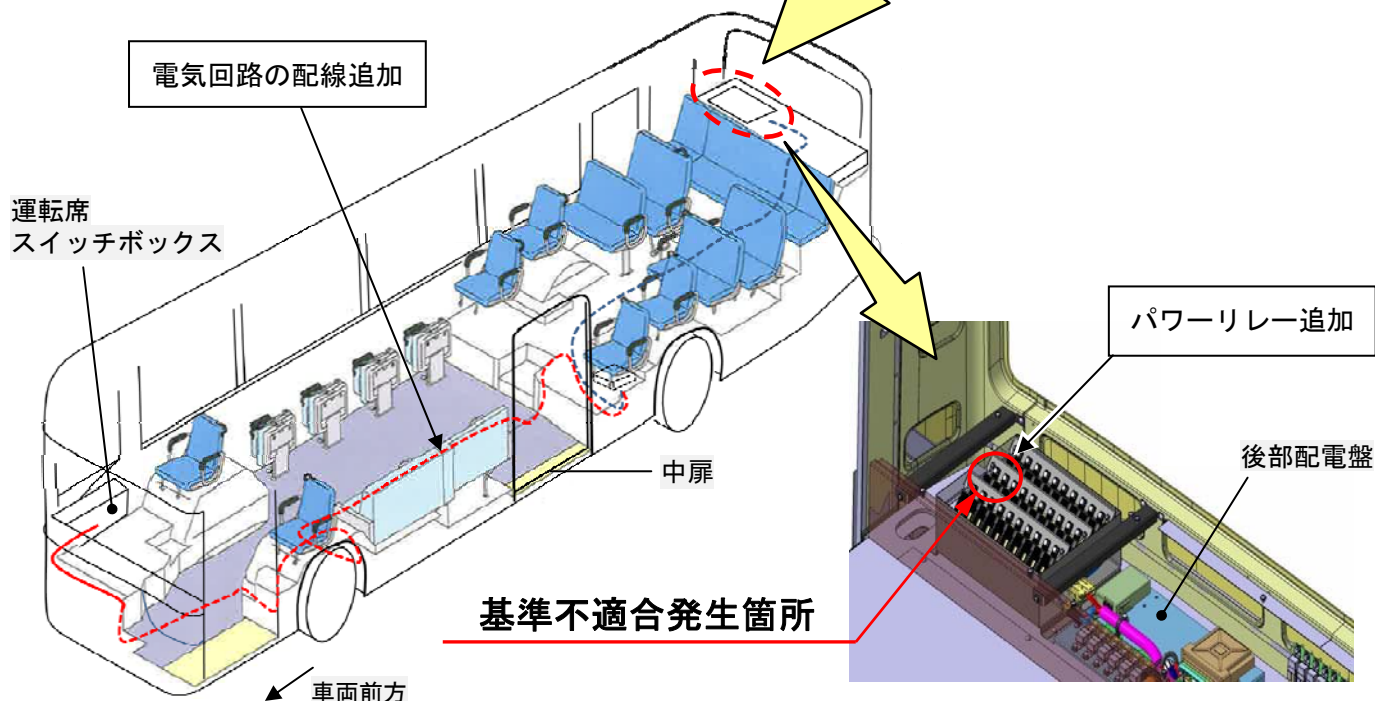


# 改善箇所説明図①



自動変速機を搭載した大型路線バスにおいて、中扉を制御する電気回路が不適切なため、以下の条件を全て満たした場合、走行中に中扉が開くおそれがある。

- ア. 乗降時に運転者が中扉スイッチを「開」位置にした後に中扉の光電管が遮断（人・物などを検知）された場合（光電管を遮断しているため、中扉は開かない）
- イ. アの後に運転者が中扉スイッチを「開」位置にしたままで走行し、走行途中で光電管の遮断が解除された場合

## 改善措置の内容

全車両、走行状態では中扉が開かない電気回路に変更する。

注：□ は追加する部品を示す。

識別：作業完了車には、車両左後方点検リッド裏の位置に「HB152」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。

## 改善箇所説明図②



音声合成式 扉開閉予告装置を装着した大・中型路線バスにおいて、当該装置の制御プログラムが不適切なため、乗降時に運転者が中扉スイッチを「開」にした際、扉が開くことを知らせる警報が作動しないおそれがある。

### 改善措置の内容

全車両、音声合成式 扉開閉予告装置の制御プログラムを対策品に変更する。

注 :  は交換する部品を示す。

識別 : 作業完了車には、車両左後方点検リッド裏の位置に「HB152」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。